（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センターあすいろ

公表日　令和7年5月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	活動によっては少し狭いと感じることはある。	親子通所など利用人数が増える場合には2グループに分けて活動するなどしていきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	玄関がバリアフリーになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	静養室が設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	ＰＤＣＡサイクルがされてるのか不明。	毎日の振り返りと記録の際に支援計画の目標を意識しているように関連付けていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2		自己評価・保護者評価をまとめた後は、職員間で情報を開示し、改善点について話し合っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎日のミーティングや定期的に職種別のミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2	外部評価がされているか不明。	事業所自己評価と保護者からの評価を外部の福祉関係者に第3者評価をしてもらっています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	3		新入研修、虐待等定められている研修は定期的に行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	3		支援プログラムは公表していますが、職員や利用者向けへの周知が不十分だったと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	アセスメントのすり合わせがされていない。	毎日の振り返りで職員間で見立てを話し合っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	朝のミーティングで打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	支援の振り返りは週朝のミーティングで行っている。	今年度からはその日の活動のあとに振り返りができるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	児発管が参加している。	会議の際は、担当保育士が最新のようすを紙面にまとめ、専門職の意見を聞いて、全体像を理解できるようにしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	必要に応じて学校担任と関係者会議を行っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	1		児童発達支援センター連絡会や地域通所連絡会には参加しており情報交換しています。児童発達支援センターには見学に行って、わからないことを聞いたり参考にしたりさせてもらっています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0		
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	2		児童館まつりなどの行事に参加しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題については連携を持っているか。	11	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	ペアレントプログラムを行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	親子通所で定期的にレクチャーを行っている。	
	39	父母の会の設置を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2	兄弟同士はないが、親子通園で保護者同士の交流はある。保護者会で活動のようすを紹介している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	ＳＮＳで活動の様子やレクチャーの情報を発信している。	ＳＮＳや支援ソフトの連絡機能を利用して、レクチャーや教室のお知らせを適宜行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	5		事業所に招待することはなかったと思います。見学希望の方があれば随時ご案内しています。
非常時等の対応	45	感染症予防マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等への連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、事族等へ周知しているか。	10	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し「解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		